

P T A活動分科会

(1) 思春期の子どもを持つ親・家族の在り方
(伊丹市立北中学校P T A)

(2) 「小学生の親としての困り事」
(伊丹市立緑丘小学校P T A)

討議の柱

- ①Y o u T u b e 依存 (緑小)
- ②ゲーム依存 (緑小)
- ③子どもの自主性 (緑小)
- ④男親の子どもとの接し方 (北中)
- ⑤思春期の子どもとの関わり方 (北中)
 - ・子どものスマホを親が見ているか？
 - ・子どものやる気を出させる方法

報告テーマ

思春期の子どもを持つ親・家族の在り方

所属 伊丹市立北中学校P T A

名前



1 はじめに

今年度、本校教養部が伊丹市権・同和教育研究大会の発表校であり、その為の事前学習会に出席した担当者数名で話し合いをした。その中で子どもの話題になり、それぞれの悩みや困ったことを話し合っていくうちに子どもへの日々の苛立ちだけでなく、父親の子どもへの接し方や夫婦の関係性の話になった。そこで、思春期にも色々な現れ方があることもわかり、さらには教養部員の中に男性も居た為、父親目線での意見も知りたいと思い、中学生という思春期真っ只中の子どもを持つ家族や夫婦の在り方をテーマに各家庭での対処法や子どもに対しての接し方について聞いてみることにした。

その集まりに伊丹市人権教育指導員の鈴木隆一先生をお招きし、アドバイスを頂くことにした。

2 活動報告

(1) 伊丹市人権教育指導員鈴木隆一先生との研修会

研修会に鈴木先生をお招きするにあたり、事前に教養部員それぞれの悩みや相談事を募り、研修当日はそれにお答え頂きながらさらにそこに出席した部員同志で意見交換を行った。

Q. 自分自身も中学時代、反抗的な態度をとってしまうことがありました。娘も何度注意しても聞いてくれず、『お父さんも〇〇が出来ていない』などと言われます。指摘されたことは直すように言いますが、なかなかうまくいきません。男親の娘に対する接し方・聞き入れてもらいやすい注意の仕方を知りたい。

A. くどくど同じことを何度も言わない。頭ごなしに言うことを控えてみる。子どもの反抗的な態度にはカッとなるのではなく、適当にかわす。

Q. 子どもが親に頼りすぎなところ。何をするにしても『どうしたらいい?』と聞いてくる。『これやっというて』は日常茶飯事で・・・この先心配。もう少し自分のことは自分で出来るようになってほしいが・・・。

どうすれば自分のことをするようになるのか聞きたい。

A. 自分に余裕があれば子どもの要求に応じてあげたり、子どもにその姿を見せることで、自然とやるようになったり、子どもからの感謝の言葉が出たりするようになる。親がやっている姿、習慣を子どもは見ている。

Q. お小遣いについて迷っている。お小遣いが無くなり、お手伝いをするとお金を少し渡すというルールを作ったが、それではお小遣いや限られたお金でやりくりという意味もなく。

周りのお子さんはいつもたくさんお金を使っていると嘆かれる。中学生のお金の使い方やお小遣いのことなどを聞きたい。

A. 他の家庭と違っていても、『よそはよそ、うちはうち』というように、普段から家でのルールを決めておくと良い。

Q. 子どもがすぐに諦めてしまう。何をするにも、どうせ出来ないからというのが口癖で、勉強でも頑張れば志望校に行ける可能性があるのに、無理やからと勉強してくれない。どうしたらやる気や負けん気を持つようになるのか悩んでいる。

A. 意欲・やる気を出させるには心身の安定が必要。

Q. 今のところはしんどい! だるい! と言いながらも、毎日学校や部活には行っていますが、どうしても行きたくないと言い出した時に、どう対応するのがいいのだろうか。

A. 子どもの現状を認めること。

子どもに家庭内での役割を持たせる。それにより子どもは自分の存在感を感じる事ができる。そうすることで学校で嫌なことがあろうとも我慢をすることができる。

3 学習会を終えての感想

・子どもへの接し方について色々と考える時間だった。自分に余裕がなく、子どもにあたってしまうこともあるが、子どもと向き合い他愛もない話をしながら、本当に困った時に相談できる関係でありたいと望んでいる。

・自分に余裕がなく、子どもの出来ないところばかり見えてすぐに怒ってしまっていたので、子どものことをよく見て、認めることをしないといけないなど改めて思った。そうすることで、反抗してきた時もうまく対処できるようになれたらいいと思った。

・子ども1人1人の個性によって教育する内容は変えないといけないが、親自身が子どもの頃受けた教育や今の時代にあった指導をしていく必要があると思った。

・頭ごなしに子どもを叱ったり、親がカーっとなってしまったら子どもは話を聞ける状態ではなくなるんだということがわかった。

今の時代ネットでの友達とのやり取りが増えて、休日も1人で居ることも増えていますが、子ども本人がそれでいいと思っているなら、少し形は違うが理解していけたらと思う。

・日頃出来ている声かけもあるが、逆の対応をしている事が多く情けなくもあり、いかに自分に余裕がないかを気づかされた。

子どもへの今までの接し方を振り返った時に、子どもの心のかぎを閉めてしまったのは自分なんだと反省した。

子どもを受け止めるにはまず親である自分が変わる必要があり、子どもと向き合って一緒に成長出来ればと思った。

4 おわりに

子育てに正解はないので、親として100点満点を目指すのではなく、60～70点でよいというお話を伺い肩の力が抜けたように感じた。

「群れる弱さ」「群れない強さ」を理解し、1人でいることの強さを認めてあげること、子どもは自分の存在感を感じ、嫌なことがあっても我慢が出来るようになるということがわかった。

思春期の中学生は様々だが、親である私たちが子どもの現状認めてそれぞれの個性に合った関わり方をすればいいのだと気づいた。

報告テーマ

「小学生の親としての困り事」

所属 緑丘小学校P T A

名前 

1 はじめに

日々の生活の中で、子どもに対して「反抗期」が始まったなど感じる事が増えてきた。そう感じているのは自分の家庭だけなのかと疑問に思い、厚生部員の中でアンケートをとってみると、それぞれの家庭でそれぞれの悩みがある事がわかった。このアンケートを基に分析し今の小学生の親としての困り事をまとめ、各家庭の悩みや解決策を共有し、少しでも親子がストレスの無い生活を送れるきっかけになるようにまとめた。

2 小学生の親としての困り事

(1) YouTube 依存

- ①時間を制限しても守ってもらえない
- ②先に宿題をしてから時間が余ったら見てもいいと伝えても守ってもらえない
- ③見るのをやめてという、今見ているものはやめるが他の媒体を使ってこっそり見始める

(2) ゲーム依存

- ①ゲームの時間と他の時間の切り替えがなかなかできない
- ②親が声をかけても終われない
- ③ゲームを始める前に約束してタイマーを設定しても終われない
- ④自分の切りの良い所までゲームをしようと言っている内に終われない。
- ⑤終わらないといけないとわかっているけど面白さが勝ってしまいすぐに終われない。

(3) 子どもの自主性

- ①自分の考えや思いを通そうと反発し始めた。
- ②何でも自分で決めたいと思うことが増えた。
- ③反対に何でもかんでも親が先に手を出してしまったり声をかけてしまい自主性が育ってないのではと心配になる

(4) 子どもの友だち関係

- ①クラスの子が殴ってくる。
- ②クラスの子がイヤなことを言うてくる。

(5) 兄弟・姉妹の比較

- ①上の子に対して過度な期待をかけてしまう。
- ②下の子に対しては寛容な気持ちでいられる。

3 おわりに

今回の意見交換会を通し、各家庭それぞれの悩みがあり自分の家庭だけではないとわかった。またその悩みに対しての解決策をそれぞれ模索していてとても参考になった。自分の家庭でもそれを取り入れ、親も子も両方が少しでもストレスの無い生活が送れるようにしていきたいと思う。